

令和5年度 学校評価【教職員用】

<集計方法>

A:よくあてはまる ～4点 B:あてはまる ～3点
C:あまりあてはまらない ～2点 D:全くあてはまらない ～1点
?:わからない ～点数なし(人数のみ)

<回答数>

1 学年	2 学年	3 学年
28	25	20
100.00%	100.00%	100.00%
寄宿舎	事務	全 体
17	9	99
100.00%	100.00%	100.00%

※平均点 ～ 基準は3.00。 昨年度と同じ質問項目で、昨年度平均を上回ったら緑、下回ったら赤で表記

評 価 項 目			学年	A	B	C	D	?	平均点
1	学校経営	学校教育目標や学校経営方針を踏まえ、具現化する意識をもちながら、担当する教育活動に責任をもって行っている。	1 学年	8	20	0	0	0	3.29
	2 学年		8	16	1	0	0	3.28	
	3 学年		3	17	0	0	0	3.15	
	寄宿舎		3	12	0	0	2	3.20	
			事務	4	2	1	0	2	3.43
			全 体	26	67	2	0	4	3.25
2	教育課程	一人一人の生徒の障がい特性や青年期の特性を踏まえ、卒業後の生活を見据えた教育課程が編成、実施されている。	1 学年	6	21	0	0	1	3.22
	2 学年		9	16	0	0	0	3.36	
	3 学年		2	18	0	0	0	3.10	
	寄宿舎		2	10	0	0	5	3.17	
			事務	2	3	1	0	3	3.17
			全 体	21	68	1	0	9	3.22
3	カリキュラム・マネジメント	学校教育目標や学校経営方針と、日常の授業とのつながりを意識しながら、年間指導計画の検討など教育課程の改善に取り組んでいる。	1 学年	8	18	1	1	0	3.18
	2 学年		7	16	1	0	1	3.25	
	3 学年		2	18	0	0	0	3.10	
	寄宿舎		2	9	0	0	6	3.18	
			事務	2	2	0	0	5	3.50
			全 体	21	63	2	1	12	3.20
4	授業	学校教育目標や学校経営方針に基づき、将来の社会生活へつながる体験的で質の高い授業づくりを行い、授業改善に努めている。	1 学年	11	14	2	0	1	3.33
	2 学年		3	22	0	0	0	3.12	
	3 学年		1	19	0	0	0	3.05	
	寄宿舎		1	11	0	0	5	3.08	
			事務	2	3	1	0	3	3.17
			全 体	18	69	3	0	9	3.17
5	指導体制	専門性に応じた効率的、効果的な指導体制が生まれ、思いやりや協働の意識をもって業務を行っている。	1 学年	9	17	1	0	1	3.30
	2 学年		5	20	0	0	0	3.20	
	3 学年		3	17	0	0	0	3.15	
	寄宿舎		3	12	1	0	1	3.13	
			事務	2	5	0	0	2	3.29
			全 体	22	71	2	0	4	3.21
6	交流及び共同学習	交流学習や共同学習が工夫しながら行われている。(前田北小学校、石狩翔陽高校、琴似工業高校など)	1 学年	8	19	1	0	0	3.25
	2 学年		8	16	1	0	0	3.28	
	3 学年		4	15	1	0	0	3.15	
	寄宿舎		1	11	0	0	5	3.08	
			事務	4	3	0	0	2	3.57
			全 体	25	64	3	0	7	3.24

評 価 項 目			学年	A	B	C	D	?	平均点
7	販売会	地域や保護者向けの販売会を工夫しながら積極的に取り組んでいる。（学校祭、前田森林公園、こぼん委託販売、町内会夏祭りなど）	1 学年	7	17	2	1	1	3.11
	2 学年		8	16	1	0	0	3.28	
	3 学年		4	15	1	0	0	3.15	
	寄宿舎		2	10	0	0	5	3.17	
			事務	5	3	0	0	1	3.63
			全 体	26	61	4	1	7	3.22
8	進路指導	生徒や保護者が見通しをもって進路選択できるように、一人一人の実態に加えて、願いや希望を踏まえた適切な進路指導を行っている。	1 学年	8	17	1	0	2	3.27
	2 学年		11	13	1	0	0	3.40	
	3 学年		4	16	0	0	0	3.20	
	寄宿舎		3	11	0	0	3	3.21	
			事務	3	2	0	0	4	3.60
			全 体	29	59	2	0	9	3.30
9	生徒指導	生徒理解と信頼関係の構築に努め、一人一人の良さを生かす指導の工夫を図り、共通理解された方針のもとで指導にあたっている。	1 学年	10	16	1	0	1	3.33
	2 学年		11	13	0	0	1	3.46	
	3 学年		3	17	0	0	0	3.15	
	寄宿舎		2	12	1	0	2	3.07	
			事務	4	2	0	0	3	3.67
			全 体	30	60	2	0	7	3.30
10	いじめ防止	いじめの未然防止に向けたアンケートや面談を適切に行っている。	1 学年	13	14	0	0	1	3.48
	2 学年		15	10	0	0	0	3.60	
	3 学年		6	14	0	0	0	3.30	
	寄宿舎		5	12	0	0	0	3.29	
			事務	3	2	0	0	4	3.60
			全 体	42	52	0	0	5	3.45
11	問題行動への対応	生徒の問題行動などの情報を部署間で共有し、適切に対処するための組織的な体制が整備され、機能している。	1 学年	11	13	3	0	1	3.30
	2 学年		12	10	2	0	1	3.42	
	3 学年		4	16	0	0	0	3.20	
	寄宿舎		2	12	3	0	0	2.94	
			事務	4	3	0	0	2	3.57
			全 体	33	54	8	0	4	3.26
12	校内支援	学年主任、寮務主任、専任コーディネーターを中心とした、校内支援や外部連携などの充実が図られている。	1 学年	8	18	0	0	2	3.31
	2 学年		12	12	0	0	1	3.50	
	3 学年		2	17	0	0	1	3.11	
	寄宿舎		1	9	4	1	2	2.67	
			事務	2	3	0	0	4	3.40
			全 体	25	59	4	1	10	3.21
13	保健管理	生徒の健康を日常的に把握し、心身の病気の予防や早期発見に努め、健康管理能力向上のための指導が適切に行われている。	1 学年	8	20	0	0	0	3.29
	2 学年		9	15	1	0	0	3.32	
	3 学年		5	15	0	0	0	3.25	
	寄宿舎		2	11	3	0	1	2.94	
			事務	3	4	0	0	2	3.43
			全 体	27	65	4	0	3	3.24
14	感染症対策等	感染症予防や熱中症予防などに対して適切に対応している。	1 学年	10	17	1	0	0	3.32
	2 学年		9	14	2	0	0	3.28	
	3 学年		3	17	0	0	0	3.15	
	寄宿舎		6	11	0	0	0	3.35	
			事務	3	4	0	0	2	3.43
			全 体	31	63	3	0	2	3.29

評 価 項 目			学年	A	B	C	D	?	平均点
15	研究・研修	校内研究は、研究の目的や内容、方法が適切であり、教職員の専門性向上や授業改善に結び付いている。	1学年	4	18	4	0	2	3.00
	2学年		4	19	2	0	0	3.08	
	昨年度平均		3学年	0	16	4	0	0	2.80
	3.03		寄宿舎	2	14	0	0	1	3.13
			事務	1	2	0	0	6	3.33
			全 体	11	69	10	0	9	3.01
16	ICT教育	ICT教育や環境整備についての研修に努め、実践している。	1学年	8	18	1	0	1	3.26
	2学年		11	12	1	0	1	3.42	
	昨年度平均		3学年	3	17	0	0	0	3.15
	-		寄宿舎	3	12	0	0	2	3.20
			事務	3	2	2	0	2	3.14
			全 体	28	61	4	0	6	3.26
17	保護者対応	保護者からの相談や要望に対して、連携して誠実に対応している。	1学年	14	12	0	0	2	3.54
	2学年		15	10	0	0	0	3.60	
	昨年度平均		3学年	3	17	0	0	0	3.15
	3.35		寄宿舎	3	13	0	0	1	3.19
			事務	4	3	0	0	2	3.57
			全 体	39	55	0	0	5	3.41
18	情報発信	学級通信やホームページなどで、積極的な情報発信に努めている。	1学年	5	20	1	0	2	3.15
	2学年		1	20	2	0	2	2.96	
	昨年度平均		3学年	0	18	1	0	1	2.95
	3.15		寄宿舎	2	12	1	0	2	3.07
			事務	2	5	0	1	1	3.00
			全 体	10	75	5	1	8	3.03
19	組織運営	協働的で機能的な組織運営であるとともに、適切に業務分担された中で連携を図り、効率的に業務を推進している。	1学年	4	17	7	0	0	2.89
	2学年		2	20	2	0	1	3.00	
	昨年度平均		3学年	1	17	2	0	0	2.95
	2.93		寄宿舎	2	12	3	0	0	2.94
			事務	2	5	1	0	1	3.13
			全 体	11	71	15	0	2	2.96
20	勤務時間	会議の効率化や業務の能率化を図り、計画的に業務を行っている。	1学年	7	20	0	0	1	3.26
	2学年		6	18	0	0	1	3.25	
	昨年度平均		3学年	2	18	0	0	0	3.10
	-		寄宿舎	4	12	0	0	1	3.25
			事務	3	2	2	0	2	3.14
			全 体	22	70	2	0	5	3.21
21	働き方改革	働き方改革に向けて、計画的な業務遂行や業務内容の見直しなど積極的に取り組んでいる。	1学年	5	22	1	0	0	3.14
	2学年		4	18	3	0	0	3.04	
	昨年度平均		3学年	0	19	1	0	0	2.95
	-		寄宿舎	4	12	0	0	1	3.25
			事務	3	1	4	0	1	2.88
			全 体	16	72	9	0	2	3.07
22	危機管理	事故、事件、災害などに適切に対処できるよう、必要な訓練を行うとともに、非常時における教職員の役割が明確で組織化されている。	1学年	5	21	2	0	0	3.11
	2学年		3	18	4	0	0	2.96	
	昨年度平均		3学年	1	17	2	0	0	2.95
	2.94		寄宿舎	3	12	1	0	1	3.13
			事務	3	4	2	0	0	3.11
			全 体	15	72	11	0	1	3.04

評 価 項 目			学年	A	B	C	D	?	平均点
23	教職員の服装、身だしなみ	職務にふさわしい服装や身だしなみに努めている。	1 学年	8	19	1	0	0	3.25
	2 学年		4	19	1	0	1	3.13	
	昨年度平均		3 学年	4	14	2	0	0	3.10
	3.19		寄宿舎	5	12	0	0	0	3.29
			事務	4	5	0	0	0	3.44
			全 体	25	69	4	0	1	3.21
24	人権尊重	人権を尊重し、適切な言葉遣いや態度で関わるよう努めている。	1 学年	8	18	2	0	0	3.21
	2 学年		10	15	0	0	0	3.40	
	昨年度平均		3 学年	4	16	0	0	0	3.20
	3.21		寄宿舎	4	13	0	0	0	3.24
			事務	4	4	1	0	0	3.33
			全 体	30	66	3	0	0	3.27
25	服務規律	教育公務員としての自覚を常にもち、体罰の防止や個人情報保護及び交通違反やハラスメントなどの事故防止に努めている。	1 学年	12	16	0	0	0	3.43
	2 学年		12	13	0	0	0	3.48	
	昨年度平均		3 学年	8	12	0	0	0	3.40
	3.38		寄宿舎	8	9	0	0	0	3.47
			事務	4	5	0	0	0	3.44
			全 体	44	55	0	0	0	3.44
26	学校事務	施設・設備や財務の適切及び計画的な管理・執行が行われている。	1 学年	5	20	2	0	1	3.11
	2 学年		9	13	1	0	2	3.35	
	昨年度平均		3 学年	3	17	0	0	0	3.15
	3.09		寄宿舎	3	12	1	0	1	3.13
			事務	4	3	2	0	0	3.22
			全 体	24	65	6	0	4	3.19
27	P T A 活動	保護者と教職員が協力し、工夫した活動が行われている。	1 学年	7	19	1	0	1	3.22
	2 学年		9	14	0	0	2	3.39	
	昨年度平均		3 学年	0	19	1	0	0	2.95
	3.19		寄宿舎	0	9	1	0	7	2.90
			事務	3	2	1	0	3	3.33
			全 体	19	63	4	0	13	3.17
28	教育環境	廊下や教室、寄宿舎内は、掲示物も含めて整理・整頓されている。	1 学年	7	20	1	0	0	3.21
	2 学年		9	14	2	0	0	3.28	
	昨年度平均		3 学年	5	15	0	0	0	3.25
	3.17		寄宿舎	3	13	0	0	1	3.19
			事務	4	4	0	0	1	3.50
			全 体	28	66	3	0	2	3.26

自由記述については、職員の姿勢や教育活動について肯定的な御意見を複数いただきました。
より一層、丁寧な対応に努めてまいります。

☆まとめ

昨年度と同じ質問項目の21項目のうち、18項目は昨年度の平均点を上回った。3項目は昨年度の平均点を下回った。
平均点の基準である3.00より、全28項目中、27項目は上回った。1項目は2.96で下回った。

評価点が比較的低かった「19 組織運営 (2.96)」「15 研究・研修 (3.01)」「18情報発信 (3.03)」「22 危機管理 (3.04)」「21 働き方改革 (3.07)」を学校全体の課題と押さえ、次年度の運営計画作成の際に改善に向けて検討する。

全体的には前年度よりも評価点は上がっており、今年度の実践について学校全体で良い評価を得られたと考える。
今後も現在の実践に自信をもって継続し、さらなる改善に向けて建設的な意見を出し合いながら取り組んでいきたい。